



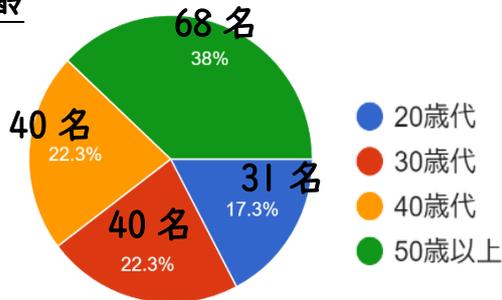
あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、年度末に向け、今年度のまとめや新年度の準備を進められていることと存じます。

第43回愛媛県養護教員研究大会へ会場またはオンラインでご参加くださった先生方のアンケート結果を報告させていただきます。

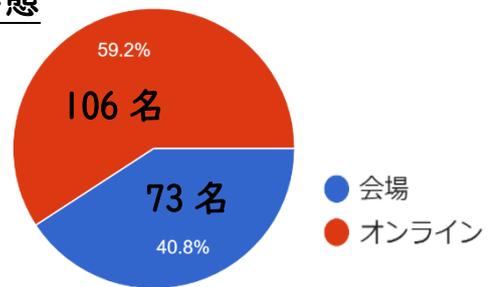
令和4年度 第43回愛媛県養護教員研究大会 アンケート結果報告

(参加者・回答者共に179名)

年齢



参加形態

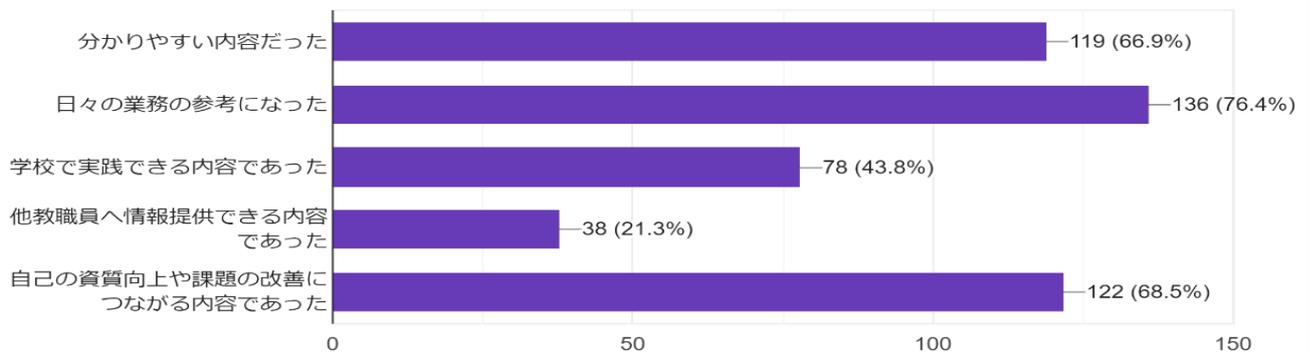


I 研究発表

- ◆ 自他の安全や命を守るために主体的に行動できる児童の育成
～保健教育における養護教諭の専門性を生かしたタブレット端末の活用を通して～
松山(小1)支部(発表:松山市立小野小学校 渡部裕美 先生)
- ◆ 「性的自己決定能力」を育む性教育の推進
～「こころまじわうプロジェクト」の取組を通して～
宇和島支部(発表:宇和島市立城北中学校 岡田久美 先生)



<研究発表について> (複数回答)



<参加者の感想>

- コロナ禍において、どちらも精力的に児童生徒の健康課題に向けて取り組まれる姿勢が素晴らしい。
- 学校、支部で連携を図りながら継続されている取組は、深みのある実践であると思う。
- カメラや動画など、普段使用しているツールが実習に生かせることが分かり、実践したいと思った。
- ICTを取り入れた発表から、子どもの可能性を感じ、生き生きと活動する子どもたちの姿が目についた。
- 宇和島市の取組が素晴らしい。縦と横のつながりやチームで連携することで、子どもたちの幸せを守っている取組だと感じた。
- 宇和島支部の取組について、ここまでのプロジェクトを作り、それを継続していくための苦労も多かったはずだと感じる。中学校での性に関する指導の実践研究は少ないため、勉強になり、刺激も受けた。

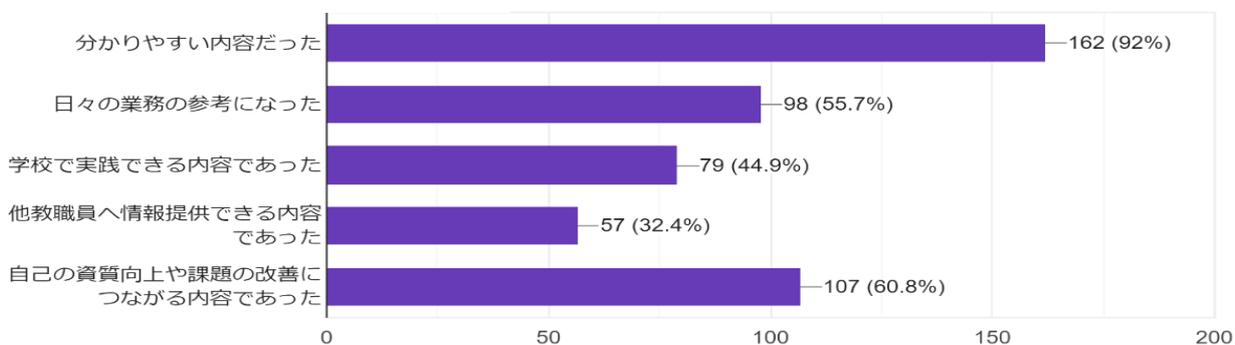
2 講演

◆ 楽しく体験！そうだったのか！からだの不思議

講師：文京学院大学保健医療技術学部 教授 樋口 桂 先生



<講演について> (複数回答)



<参加者の感想>

- 体験型・参加型で、自分が生徒になった気持ちで興味を持って聞かせていただいた。
- 自分の体の「なぜ？」について子どもたちに考えさせるプロセスは、授業だけでなく、保健委員会の活動にも活かせると思う。健康教育をどう組み立てていけばよいのか明確になった気がする。
- 自分自身の行動変容の参考になった。子どもたちを、あっと驚かせる魔術師になるべきだと思った。
- オンラインであったが、楽しく視聴することができた。知っている「つもり」になっていたことが多かったので、もっと勉強しなければと思う。
- 自分たちの体は不思議に満ちていて、それがとても素晴らしいことだと子どもたちに伝えたいなと思った。
- 「なぜだろう、知りたい、そうだったのか！」という学びの基本を再確認することができた。
- 体に関するクイズはもちろんだが、先生のお話の仕方に引き込まれ、子どもたちへ指導する際のヒントをたくさんいただいた。

※ 研究発表・講演内容については、「あゆみ41号」でご確認ください。



— 令和5年度 第44回愛媛県養護教員研究大会 お知らせ —

- * 期 日 令和5年11月22日(水) * 会場 エスポワール愛媛文教会館
- * 研究発表 四国中央支部、伊予支部
- * 講演 演題「未定」 講師：神戸大学人間発達環境学研究科 名誉教授 川畑 徹朗 先生